



例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 井原 俊彦
幹事 香川 基吉

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail:hwrc@godorc.gr.jp
広島西ロータリー <http://www.hwrc.jp/>

RIテーマ Reach Within to Embrace Humanity
「こころの中を見つめよう
博愛を広げるために」

本年度会長テーマ
「ユーモアでロータリーに
もっともっと笑顔を」

「ロータリー理解推進月間」

2012年 1月 19日 第2035回例会

◆ 会長時間 ◆

井原会長



RI 戦略計画について

皆さんこんにちは。本日も先週に引き続きロータリー理解推進月間関連で述べさせていただきます。

IT技術の進歩によって、世界中で激しい変化が起こっています。ロータリーも時代に即した活動が必要であるということで、長期計画という言い方が、“戦略計画”という言葉になったという南園元RI理事の報告（ロータリーの友2012年1月号）を部分的になってしまいましたが私なりにまとめてみました。

ロータリーの5つの価値観、即ち“親睦”“奉仕”“多様性”“高潔性”“リーダーシップ”は我々ロータリアンがロータリーの神髄であると尊重している理念ですが、これらは実践しないと意味がありません。“理念なき実践は暴挙であり、実践なき理念は空虚である”と南園さんは述べられています。

多種多様な活動を実行するための新しい“RI戦略計画”では3つの優先項目が提示されています。

①各クラブの強化：そのためには過去の活動を固定的に考えないで、柔軟に、革新的に色々な方法

を取り入れて、各種の多様性を認める。例えば入会に関しても準会員、法人会員、衛星クラブ、E-クラブなどが日本でも試験的に活動を始めたようですが、私にはどんなものか全く理解できません。

②人道的奉仕活動の重点化：ロータリーの奉仕活動には、ポリオの撲滅、新世代への奉仕、そしてロータリー財団の6つの重点分野、即ち、“平和と紛争予防／紛争解決”“疾病予防と治療”“水と衛生設備”“母子の健康”“基本的教育と識字率向上”“経済と地域社会の発展”など多くがあるのですが、その中から焦点を絞る活動が必要である。

③ロータリーのイメージアップと認知度の向上：一般の人々はロータリーについて知らないのに、素晴らしい奉仕活動を行なっていることを多くの人に知ってもらう為の広報の仕方を改善する。

“RI戦略計画”は“財団の未来の夢計画”とともに益々重要な活動指針となって、将来この2つが統一化されていくことになっているのだそうです。

さて続いては私の逆説的夢想です。

①柔軟に多様に会員増強をとるのであれば、例会は隔週にするとか、朝や夜に開くとか、会費を下げたいいホテルで高価な昼食を食べないで地域

の専門職の人が入会し易くするとか等の試みはどうなのか、あるいは週報とか月報とか労力と金がかかる事はしないとかもあり得るのじゃないか。

②多くの奉仕の例を並べられるとめまいがする様な気がします。

③“ロータリーとは旦那衆の昼食会”だとか、“ロータリーはどこに行くのか？昼食を食べに行く”（バーナード・ショウ）などと嘲笑された時代もあったのですから、対外広報と自分達の言動は重要だなと思いました。

新会員に会員証、ロータリーバッジ、四つのテスト及び職業宣言を贈呈



武田 弘行 氏



片山 恵太 氏

米山記念奨学会特別寄付金の累計が34,268,750円となりましたので、米山功労クラブとして感謝状が届きました。（100万円毎 第34回）



会務報告 香川(基)幹事

懇例会終了後、4階「カメリア」においてクラブ協議会を開催いたしますので、理事役員及び委員長は出席を願います。

委員会報告

出席報告 鮫島副委員長

本日(1月19日・木曜日)			
会員数	84名	出席者	76名
欠席者	8名	ご来客	2名
ご来賓	0名	ゲスト	0名
			計 78名
前々回(1月5日・木曜日)			
			出席率 100%



ご入会記念月おめでとうございます。

(5名)

- 坂田君 (S59年) 荒谷君 (H 3年)
- 井原君 (H 4年) 加藤君 (H19年)
- 中山君 (H23年)

創業月おめでとうございます。

(4名)

- 荒谷君 荒谷建設コンサルタント㈱
- 児玉君 (医・社)仁和会児玉病院
- 篁君 (学)至徳学園至徳ルンビニー幼稚園
- 小田君 広島総合法律会計事務所

新会員紹介

かたやま けいた
○片山 恵太 会員

推薦者 木本 弘三会員

推薦同意者 刀禰 明会員

生年月日 1976年2月14日

勤務先 株式会社 コマップス

役職名 代表取締役

学歴 広島県立広高等学校

はじめまして。

この度 格式高い 広島西ロータリークラブへ入会させて頂く事となりました片山恵太と申します。日本経済を根幹で支え、盛り立ててこられた大先輩方と親睦を深める事が出来るのは大変な名誉であると存じます。

私をご推薦戴きました 木本弘三様・刀禰明様・ご承認くださいました各位に、厚く御礼申し上げます。

私は、海と山に囲まれた呉の町に生まれました。毎日、木々で遊ぶ野鳥の声に目覚め、四季折々の自然の移ろいと共に育ち、学校からの帰り道では、

地域のお年寄りが笑顔いっぱいに出迎えてくれ、夕日が見えるまでがむしゃらに遊ぶ。それが当たり前の環境で育ってまいりました。

今思えば、自然環境に恵まれ、地域の人々に恵まれた贅沢な幼少期だったと思います。

私の名前のごとく、太く恵まれた御縁と御協力により、30歳で起業し今年でようやく6年目となりました。

社名であるCOMAPSは、Our communication makes map!を略した造語です。

お世話になった御縁に恩返しするつもりで、地域を育み牽引する歯車の一つになればと願っています。

現在日本は、東日本大震災の復興、原発、世界情勢の不安という問題に立ち向かわなければならぬ重要な時期であります。

一企業人である自分に何ができるだろう…と考えていた折、ちょうどロータリーへのお誘いを頂いたのです。

若輩者ではありますが、入会したからにはロータリアンとして、自覚と奉仕の精神を肝に銘じ、自己研鑽に努めてまいり所存です。

皆様、何卒暖かいご指導とご鞭撻宜しくお願い致します。



※武田弘行新会員は次週ご紹介いたします。

●スマイルボックス SAA 安部委員

☺ やったぜ、垂井プロ！ (自主申告・金一封)

紫友会の1月例会で、優勝(全体とシニアの部、完全優勝)しました。お天気もメンバーにも恵まれ、楽しみました。還暦を迎えて始めた、健康第一のゴルフです。今後とも宜しくお願い致します。

☺ ようこそ、西ロータリーへ！

武田弘行君、片山恵太君、ご入会おめでとうございます。推薦者の岡野君、木本君。推薦同意者の浜井君、刀禰君、素晴らしい方をご推薦頂き有難うございました。

☺ 本物の愛！？ 荒川君

昨年11月に銀婚式を迎えられました。次は金婚式に向けて、更なる愛をお育み下さい。クラブからは記念写真が贈られております。

☺ 広島修道大学OBの方

同大学は近年、交換留学生が増加しており宿舎が必要と「広島国際交流会館」を独立行政法人日本学生支援機構から取得したそうです。同大学のOBの方々にご出宝頂きました。安部君、加藤君、前橋君、松岡輝明君、中岡君、鈴木君、村上智亮君、村上昇君。

☺ 紫友会1月例会報告

1月14日、広島GC鈴ヶ峰コースで開催。優勝はシニア優勝も獲得、垂井君(自主申告・金一封)。2位は鈴木君。3位は田中君、BB賞は武田君。ベストグロ賞は上田君。

☺ 垂井プロの感謝の気持ち

今回で4回目のシニア優勝は以下の方々のおかげと、つぶやいておられます。当日プレーをご一緒された梶本君、荒川君。ドライバー・アイアンの打ち方を教えて頂いた小橋君と篁君。

12月例会で応援してくれた原君。自分が勝って飲みたがる藤田君。ハンディが15になるまで、ゴルフを語るべからずと叱咤頂いた諏訪昭登君。練習に付き合ってく頂く松岡幹太郎君。アドレスから教えて頂いた上田君。自分が優勝した時の2位の方、浜井君、長谷川君、梶川君。このネタに関して安部君。紫友会は楽しいなあ。また頑張ります。

● 第6回理事会議事録

日時 2011年12月1日(木) 13:40~14:50

場所 ANAクラウンプラザホテル広島 4階
「松の間」

報告事項

1. 合同幹事会報告(11月16日)
香川幹事が報告
 - ① 14RC合同懇親ゴルフ大会について
 - ② 東日本大震災支援について
 - ③ 合同幹事会と事務局運営委員会について
 - ④ タイの洪水の義援金について
募金頂いたものは11月28日までに送らせて頂きました。
2. 10月収支決算について

- 元米山奨学生 張化さんへの支援について
皆さんからの寄附は49万5千円となりました。
2ヶ月に一度、分割して本人に渡すこととなります。

審議事項

1. 前回議事録の承認
2. 1月～2月卓話プログラムについて
採決－全員一致で承認
3. RYRA活動報告（11月19-20日）
採決－全員一致で承認
4. 11月10日ロータリー財団強調プログラム報告
採決－全員一致で承認
5. 第18回国際親善宮島ウォーキング活動報告
採決－全員一致で承認
6. 鈴峯学園バングラデシュ「スズガミネ校」への文具支援
採決－全員一致で承認
7. 2013年規定審議会提出立法案について
採決－全員一致で承認
8. 次年度理事役員承認について
採決－全員一致で承認
9. 新会員について
2名の新会員の推薦カードが届いています。
久兼さんの後任となる日立中国ビルシステムの支社長
もう一名は株コマップスの代表取締役になります。
採決－全員一致で承認
10. 退会希望者について
田戸会員より退会届が提出されています。
採決－全員一致で承認

協議事項

1. 東日本大震災支援（福島県南相馬市）について
南相馬市より仮設住宅居住者他の方々に臨時災害放送受信の為にポータブルラジオ2000台の支援の依頼に対し、台南RCの60万、当クラブの60万、2530地区が残りを出す形での対応を検討。まずは当クラブから60万支出することについて協議から審議に変更し採決を行う。
採決－全員一致で承認
震災支援として会員一人当たり支援金8千円負担として採決を行う。
採決－全員一致で承認

■卓話

ロータリーの考え方と クラブ運営



RID2710パストガバナー

諏訪 昭登 会員

ロータリーは1905年、シカゴRCが36才の独身弁護士、ポール・ハリスをリーダーと

する4人の青年によって社交クラブとしてスタートしました。「会員の親睦と職業上の相互扶助」から、間もなく1906年には社会的活動の提唱を加え、数え切れない試行錯誤の末、107年の価値ある歴史を重ねて来たのです。初期における苦難の経験の中で、ポール・ハリスは「ロータリーは親睦と奉仕の調和の中に宿る」と語り、最も重要な一語は「寛容」“Toleration”だと強調しております。短い時間なので詳細は省きますが、ロータリーを言葉のうでで表現すると次の如くでしょう。「ロータリーは綱領を遵守し、その実践をすることである。五大奉仕部門がその道筋となり、23-34が道しるべとなる」具体的に注釈すると、綱領（目的）は主文と四つの付随項目で一つのものとなっていますが、主文には“有益なる事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し育成し……”とあります。このことがロータリーの目的は、いわゆる職業奉仕にあるという根拠です。ロータリーの基本理念は“奉仕の理想”“I deal of Service”であり“Service”は日本語の「奉仕」の意味と異なる英語での“Service”と考えるべきで、「役に立つ」と心得て「奉仕の理想」とは「何事も他人の役に立とうと常に考え、行動しよう」という人間として最も尊重すべき理念だとするのが正しい解釈でしょう。

五大奉仕部門はクラブ活動の哲学的、実際的な規準であるとRC定款第5条に規定されていることをよく理解することであり。そして23-34（1923年のセントルイス大会決議34号）はロータリーの理念と実践原則の拠りどころとして、手続要覧114頁に揚げ続けてあります。その第1項にある如く、ロータリーは「共存共栄」を説くものであり、その心は「利己と利他の調和」であると考えて、それを常に念頭に置いて自らを律し実践することだと心得ていただきたいのです。この理念をお互いに研鑽する場が例会をはじめとする活動であり、ロータリーは人生の道場といわれる所以であります。さらにその理念を拓めることが

ロータリアンの責務であります。

ロータリーは個人性が基本であり、団体性は極めて稀薄なことがライオンズと対比される所です。二つの標語がワンセットで「奉仕の理想」の実体であることをしっかり理解し実践しましょう。それがロータリーの考え方です。

さてここから組織論となりますが、国際ロータリー（R I）は各R Cが会員となって構成される連合組織体であり、標準化された組織規定によって世界のR C群の管理を委託されています。R IとR Cとの関係は23-34の第5項に明記されている如く、平等対等であります。お互いに自治権を持ちながら、謙虚に学び合い協調して行くべき関係でなければなりません。決して上下の関係ではないことを理解して、R Cは正しい対応をしていたきたいのです。クラブ運営に当っては会員基盤強化即ち正しい考えでの会員増強は永遠のテーマであり、運営の充実も会員レベル向上を常に目指して、理念を踏まえたうえでの実践であるべきです。

ロータリークラブの運営は、R Iの定款、細則と標準R C定款を遵守し、推奨R C細則に準拠した独自のクラブ細則を作成して行われるべきです。実際には細則作成に到っていないクラブが大半であるのは、クラブ自治権を主張するクラブとして自らを律する運営細則の欠除は大きな矛盾です。以下クラブ運営上の各論について申し上げます。

●**理事会** クラブ運営上の管理主体であり、その決定は最終であることを守らねばなりません。その故に、理事会メンバーは重大な責任があり、年度準備段階で研修、特に手続要覧などについて十分理解し、正しい理事会採決に臨むべきであります。いかなる案件も全て理事会で審議されることになっております。（理事会の先議権）

●**会長** クラブの代表者で象徴的存在であり、審議権、執行権の代表者です。全ての会合の議長となり、あらゆる委員会の委員となりますが、特権は無く、あくまでも理事会に拘束されます。会長のリーダーシップでクラブは活性化し、クラブを超えて指導者となる最初のステップと心得えて、熱意ある役割遂行が責務とされます。

●**会長エレクト** クラブ内No.2の立場で理事と役員双方を兼ねて、次年度に備えて継続性も考えながら運営研修を行います。但し会長の代理は出来ません。理事会メンバー特に会長エレクトの選挙については、各クラブでルール作成のうえ実施している所もありますが、対立や不和の生じないよ

う公平に決定するよう皆で協力することが肝要です。

●**副会長** 理事、役員双方を兼務し、会長不在の時には代理をつとめます。クラブ奉仕関係の理事を務める場合がよくありますが、特権はないので、他部門理事同様に、担当する小委員会を統率し、助言と理事会への導通役をつとめます。

●**直前会長** 2010年の規定審議会の決定によって、従来と異なりクラブ役員となり理事又は理事扱いとして理事会メンバーとなり、理事、役員兼務の立場でクラブ運営の継続性や運営手法に必要な場合には助言をする役割です。但し前年度理事会からの申し送り事項は、あくまでも当年度理事会への要望であり、拘束力はありません。決して当年度理事会の自治権を侵すことのないよう注意すべきであります。

●**幹事** 会長と共にクラブの代表権者の一人（執行権）であり、職権上の理事扱いで役員として理事会へ加わります。幹事はクラブ管理運営上の実務責任者であり、クラブの世話役ともいべきその役割は、会長と共に二頭立ての馬車にたとえられる牽引者です。

●**会計** 職権上の理事扱いで役員として理事会に加わり、幹事と共に予算決算の実務を行います。予算、決算は理事会承認で確定し、例会で報告することで衆知されます。臨時総会というロータリーに存在しない名称の中で、承認手続とするクラブがあるのは間違いと言えます。ロータリーで総会と称するのは、年次総会に限られていることを認識していただきたいです。

●**S A A** 役員の立場で理事会メンバーとなり、理事の肩書をつけて役割の確立をしている場合が多いです。経験深い会員が担当し、会場監督が主任務であって、スマイルボックス担当は付随任務たることを忘れないことです。スマイルボックス収入は特別会計として、対外奉仕部門のみに対する原資となることを厳守し、会長、幹事と充分相談のうえ正しい会計処理が行われるよう注目すべきです。

●**副幹事** ロータリーの役職には無いのですが通例、幹事の補佐役として理事会に加わり、幹事不在の時は任務を代行しています。理事会での発言、採決権の有無はクラブ細則で対応することです。

（当クラブでは理事会メンバー全員が申し合わせにより、一般案件については全員が有するものとしてしています。）

●**各部門担当理事** 担当部門の小委員長を委員と

する常任委員会委員長となります。定期的或いは随時、常任委員会を開催して理事会との良好な導通を保ち、全ての案件、提案は必ず理事を通じて提出します。その逆も同様です。

●**理事会メンバーとして** クラブ運営の管理主体を担う重大な責任を担う役として十分な研修が必要です。一方で一般会員も理事会決定事項は、一致した協力体勢で全面協力するのが責務だと考えていただきたいのであります。

●**各委員長** クラブ運営実行面でそのあり方がポイントとなる各委員長は、クラブ協議会メンバーとしても運営の一端を担う役割を認識し、担当委員会委員に情報伝達を怠らないことです。年間計画作成に当っては副委員長と共に立案し、必ず委員会を開催して協議して、決して委員長独断で、しかも前年踏襲の愚を犯さぬよう注意しましょう。

(当クラブ運営内規参照)

●**例会運営** 例会は出席のメリットが事業上の貴重な時間を割くデメリットを超えるものであることが目標です。“Enter to Learn, Go Forth to Serve”「入りて学び出でて奉仕せよ」の言葉は国際協議会入口に掲げてありますが、これは全てに当てはめられる金言と言えます。(ケンドリック・ガーンジイ<1947~1948 R I 会長>が1948年にレーク・プラシッド会場に掲げた) 例会は人生の道場と位置づけられ、前半は情報伝達に、後半は会員研修のために提供されるロータリーに関連した内容であるべきで、面白おかしいエンターテイメント的なことは避けるべきでしょう。特に会長時間は会長挨拶ではなく、クラブのリーダーとしてロータリー精神高揚の役割を果たすべく、ロータリーに特化したスピーチであるべきです。創立以来の社交クラブとしての和やかなムードのなかで、会員がロータリーの親睦“Fellowship”を培う場であり、それが奉仕活動の原動力となることを確信する場であるよう工夫することです。

●**クラブフォーラム** 例会の中で時間延長予告のうえ行われるのが通例で、ロータリー情報関連のテーマで行われる討論会であり、一方的情報伝達であってはならないものです。決議結論を出す機能はありません。

●**クラブ協議会** 会長が召集する理事、役員、委員長の会合であり、運営その他について報告や協議するものであって、決議権はありません。ガバナー公式訪問に備えて二週間前に、ガバナー補佐が正式の代理としてクラブ協議会へ出席しますが、主催はあくまでもクラブであります。公式訪問当

日は例会前の会長幹事懇談会は充分時間をかけて行い、例会終了後はガバナー公式訪問フォーラムが90分の予定で行われますが、これはガバナーの希望で開催されるものであります。従ってクラブフォーラムでもクラブ協議会でもなく、司会進行をガバナー補佐が担当します。これがDLP(地区リーダーシッププラン)の正しいやり方であり

●**注意すべき点** 多くのクラブで見られる現象ですが、事務局員が永年勤続でロータリーの業務に熟達されている場合に、ロータリアンが自学自習という本来のあるべき姿を忘れて、事務局へ丸投げで事を済ますことです。この点を改善しないと会員のロータリーレベルは低下の一途を辿り、やがて危機を迎えること必至であります。党中党派の発生、屋上屋を重ねる様なことは断固排除することも当然です。

次にロータリアンの自覚を求めたく思います。

●**平等対等の原則** ロータリーは決して一般社会での縦型思考が入らぬ様に、絶対的横型組織の楽しさを原点として活動をエンジョイしましょう。

●**ロータリーの実践母体** それはクラブであり(R I ではない)、クラブの実践母体は委員会であり、そして個々のロータリアンが実践母体の原点です。「狼の力は群れの力であり、群れの力は狼だ」(キップリングの言葉)は「すべては個のため、個は全てのため」(デュマ)という国際協議会での研修推進フレーズと同様な意味であります。

●**正しい認識と自己研鑽** 重ねて申し上げますがこれこそロータリー活動の大原点であります。クラブでの継続的研修プログラムの実施が最重要課題だと思えます。「牛を水場に連れて来ることは出来ても水を飲ませることは出来ない」(松本兼二郎PDGの言葉)という譬^{たとえ}がありますが、ロータリアンが自分の意志でロータリーを良く知ろうと思わねばどうにもならないのです。生活そのものがロータリーの実践であれば自分自身が高められ、地域社会が明るくやがて世界平和へつながって行くというのが究極の目標です。ロータリーの水に浸ることが肝要と申し上げて本日のスピーチを終了させていただきます。有難うございました。

● **卓話予告**

日時	テ ー マ
2/2(木)	国際交流委員会担当 パネルディスカッション テーマ:国際交流